

こんにちは

白子の議会

です

第97号

平成22年8月1日

編集発行
白子町議会

☎ 0475(33)2111



37年ぶりの国体（炬火式）

第2回定例会

平成22年第2回定例会が6月8日開催されました。
一般質問は、2名の議員が町政を質しました。

- 一般質問2～3ページ
- 一般会計補正予算質疑概要・請願・議員発議4ページ

一般質問

町政をきく

今回の一般質問は2名が登壇し、子宮頸がん助成対応、海岸浸食対策・地域医療、国保滞納対策、給食問題などについて質しました。

子宮頸がん 予防ワクチンの公費助成を

山本浩一議員

議員 子宮頸がん予防ワクチンが、昨年十月に日本でも認可されました。多くの国では、公費全額補助、日本では、個人による負担額は、約四万五千円ぐらいかかります。予防ワクチン等に対し、公費の助成を考えているのか伺います。又、子宮頸がん予防接種は、長生病院の意見等を聞きますと、三回接種しなければ効果が得られないといわれました。白子町においては、どのように対応するのか伺います。

実施の方向で対応

町長 近年では、若い年齢層において罹患率、死亡率とともに上昇傾向が認められております。女性の健康の確保、特に将

来二十歳から三十歳代の妊娠適齢期の方の母性の保護を図るために検討しております。白子町では、今、医療機関等と協議をしております。可能であれば年内中に実施の方向で対応していきたいと考えております。子宮頸がんというのは、唯一うつるがんだと聞いております。医療機関と協議して予算措置も含めて検討したいと思えます。義務教育の子供たちを対象に対応したいと考えます。



海岸浸食対策、 養浜対策の現状 について

議員 沿岸各地の浸食対策により砂の供給が遮断されたため、白砂が大量に消失して、自然環境が急速に崩壊されています。高潮や津波等の自然災害の対策の中で、浸食、養浜対策が必要であり、現在実施されている現状について伺います。又、飯岡海岸では、テトラポットにより、砂浜が延びたようです。私も、その方法が最適だと思えます。国、県により強く働きかけ、実施していただきたいと思います。

国・県に強く 要望をしている

町長 昭和六十三年からヘッドランドの整備がされました。一宮〜一松までの十基がつけられた後、

白子町に被害が広がってきました。
太東港、片貝港のため砂を人工的に取り戻す方法を取り入れました。新聞では、一宮では、三十メートルほど浜が戻ったと書かれてありました。飯岡海岸でも、実証されております。南九十九里浜保全対策協議会を立ち上げ、浸食、養浜の事業化を国、県に強く要望を重ねているところであります。



中里海岸

国保税

申請減免制度を

市川隆子議員

組んでいきます。

議員 町の国保加入世帯の平均所得が百五十万円から百三十万円台となり、町民の重税感是非常に大きいものがあります。

国保法七十七条の規定では、「特別の理由がある者に対し保険料を減免し、またはその徴収を猶予することができ。」とされており、町は、独自に条例により保険料を減免することができません。申請減免についての考えを伺います。

実施する

町長 三月定例会で市川議員の質問に対し、運営協議会で検討すると回答しましたが、申請減免制度を実施すべき、という結論をいただきましたので、条例の一部改正、減免の基準、申請方法を定める取り扱いの規定をつくり、導入にむけて取り

ヒブワクチン 接種への補助を

議員 乳幼児の細菌性髄膜炎は、診断のつげにくい病気だといわれており、子どもにとって最も怖い感染症です。

二〇〇八年十二月からヒブワクチンの接種ができるようになり、今年二月からは、小児用肺炎球菌ワクチンも接種できるようになりました。これにより八割から九割の髄膜炎を防げるといわれていますが、町でも補助を検討すべきと思いますが、考えを伺います。

早い時期に 実施したい

町長 小児の健やかな成長と家庭での経済的な負

担軽減を図るため、補助事業を検討中です。医療機関との連携を協議し、なるべく早く実施したいと考えています。



白濁保育所園児

学校給食センター 方向性を早期に

議員 学校給食センターは、三月に屋根等の修繕をしましたが、今後は何度も修繕を重ねるのではなく、今の状況で今後何年使用可能なかを判断し、早期に方向性を出すなど、建設に向けて計画的に進めていかなければならないと思いますが、考えを伺います。

子どもにとってどう あるべきかの発想で

町長 給食施設は、子どもが少なくなり、自校方式も選択肢の一つだろうということを検討しています。子どもにとってどうあるべきかという発想で考えています。

地域医療の 充実を

議員 県による、山武・長生・夷隅地域保健医療協議会が開催されましたが、この協議会は、救命救急センターに集中させる再生計画には、問題もあるようですが町長の考えを伺います。

また、協議会では、医師確保への声が相次ぎました。

長生地域でも、夜間救急診療所、長生病院の救急患者の搬送口、二次救急の空白時間など多くの意見が出されています。長生病院を中心とした、長生地域の医療の充実に

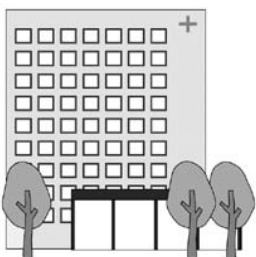
ついでの考えを伺います。
引き続き努力する

町長 長生地域としては、九十九里医療センター中心に物事を考えることはだめだと主張し、長生病院の二次を充実させるということを考えています。九十九里医療センターの今後の展開については、経過を報告します。

長生地域の医療については、四月に広域市町村圏組合に地域医療整備室を設置し、専門の体制を整備しました。

二次待機病院の空白は解消できましたが、まだ課題があります。

長生病院は、A棟の建て替えのめどがたない状況です。一施設しかない救急処置室。こうしたものの適正さを求めて努力していきます。



補正予算 質疑概要

【園芸振興事業 補助金について】

【齋藤鉄也議員】

議員 園芸振興事業補助金六百四万三千元とありますがどの様に使われているのか伺います。

産業課長 「園芸王国ちば」強化支援事業ですが

施設園芸のリフォーム事業で、県単の補助事業です。計画の承認を受けて県から町経由で認定農業者に補助します。

【衛生総務費について】

【三橋昌好議員】

議員 空調機の二基増設で二百十万円との説明ですが何社ぐらいから見積りを取ったか伺います。

保健福祉課長 概算見積りとしては一社です。

予算決定後に再度入札あるいは見積り合わせを行う予定になっています。

【国保税条例について】

【市川隆子議員】

議員 法定減免変更によ

る費用負担の見込みを伺います。

税務課長 減収分については、現在一千四百三十三万円と試算しており、町負担三百五十三万円、県負担一千六十万円です。

【観光費の補正額について】

【河野 豊議員】

議員 観光費の補正額一千万円、国体によるトイレの改修費で県が三分の一、町が三分の一、地元が三分の一というのは、地元が三分の一の負担をするのか。トイレに一千万円という予算ですがどのような所かというとつくるのか伺います。

【商工観光課長】

トイレは中里のメイン会場のクラブハウス内にあるトイレ改修を予定しております。負担割合につきましては一千五百万円を上限に、その三分の一の五百万円が補助対象になっております。それから同額の五百万円を町が補助し、残りの金額については所有者の自己負担という形になります。

請願

国営かんがい排水事業「両総地区」の完成に向けての意見書採択に関する請願書
(採択)

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択を求める請願書
(採択)

国における平成二十二年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願書
(採択)

発議案

国営かんがい排水事業「両総地区」の完成に向けての意見書
(採択)

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
(採択)

国における平成二十二年度教育予算拡充に関する意見書
(採択)

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は9月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2111/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

九十九里浜に明治維新数年前・文久二、三年頃の出來事で、「真忠組事件」維新の志士達の思想とは根本的違いがあった、特筆すべき内容は、小口順之助なる人物と幕末の農政学者として知られる佐藤信淵先生との流れを、小口順之助は剣学問共に優れ、学問がずば抜けて良くそれだけに身分制度に不満は強く、学問で身を立てようと考えようになった。

学問なら足軽も家老も百姓も町人もないわけであった。向学心に燃える小口は信淵に江戸へ出てくるように勧められた。しばらくして佐原藩の津田英次郎門下生となる「垂統秘録」編に農漁民に寄せる深い愛情は信淵が八十余年の生涯かけてで識り得たもの、教育は武士の中の識見、学識ある者その妻女子弟、娘など学のある者は育児館の先生、町人百姓は才能重視で適材適所に置く民主的な構想が小口らを魅了させた一編で知識・使いこなす力である。

九十九里叛乱資料より
三橋 吉辰